

中国地方整備局入札監視委員会（第一部会）審議概要

開催日時及び場所	平成31年3月15日（金） 14時30分～17時00分 中国地方整備局 建政部 3階会議室	
委員	部会長 近森 秀高（大学院教授） 部会長代理 水中 誠三（弁護士） 委員 竹田 宣典（大学教授） 委員 福田 和恵（公認会計士） 委員 村上 恵子（大学教授）	
審議対象期間	平成30年10月1日 ～ 平成30年12月31日	
抽出案件	総件数 8件	(備考) 審議対象工事等の案件については、 別紙1のとおり
○工事		
一般競争入札方式 (WTO対象)	1件	
一般競争入札方式 (WTO対象外)	3件	
随意契約方式	1件	
○建設コンサルタント業務等		
簡易公募型競争入札方式	1件	
通常指名競争入札方式	1件	
○役務の提供等及び物品の製造等		
一般競争入札方式	1件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答	意見・質問	説明・回答
	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

別紙1 抽出事案一覧（期間 平成30年10月1日～平成30年12月31日）

【工事】

○一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
東広島バイパス海田高架橋2号橋鋼上部工事	鋼橋上部工事	17	17	平成30年11月26日	宮地エンジニアリング(株)	541,793	90.07	広島国道事務所

○一般競争入札方式:政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
大橋川上道子川排水機場機械設備新設工事	機械設備工事	6	6	平成30年11月26日	(株)荏原製作所	252,720	90.20	出雲河川事務所
総社一宮バイパス今岡第2高架橋床版工事	プレストレスト・コンクリート工事	1	1	平成30年10月15日	機動建設工業(株)	119,232	97.56	岡山国道事務所
水島港湾合同庁舎建築その他改修工事	建築工事	2	2	平成30年10月9日	(株)井原工務店	50,652	96.50	岡山宮繕事務所

○随意契約方式

工事名	工事種別	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
平成30年7月豪雨備後地域災害復旧(その2)工事	維持修繕工事	平成30年11月20日	山陽建設(株)	151,092	99.37	福山河川国道事務所

【建設コンサルタント業務等】

○簡易公募型競争入札方式

業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
三次管内道路防災点検業務	地質調査業務	5	5	平成30年10月11日	(株)ヒロコン	25,121	79.58	三次河川国道事務所

○通常指名競争入札方式

業務名	業種区分	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
土師ダム定期検査資料作成業務	土木関係建設コンサルタント業務	10	10	平成30年10月18日	(株)建設環境研究所	8,694	79.55	土師ダム管理所

【役務の提供等及び物品の製造等】

○一般競争入札方式

業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額(千円)	落札率(%)	備考
出力機器等最適配置調査及び出力サービス提供等業務	役務の提供等	3	2	平成30年11月28日	富士ゼロックス(株)	274,499	79.40	中国地方整備局

別紙2 委員からの意見・質問、それに対する回答

意見・質問	説明・回答
(1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
<p>1) 入札方式別発注工事 2) 入札方式別発注業務 3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等 4) 指名停止等の運用状況 5) 談合情報等への対応状況 6) 再度入札における一位不働状況 7) 工事種別毎の低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況</p> <p>意見・質問等なし</p>	
(2) 抽出事案審議	
<p>1) 東広島バイパス海田高架橋2号橋鋼上部工事</p> <p>Q 1. 総合評価落札方式適用区分によると、予定価格が6.8億円以上の場合はWTO対象案件となると説明があったが、本工事の予定価格は約5.5億円(税込み約6億円)で6.8億円に達していないにもかかわらずWTOの対象としたのはなぜか。</p> <p>Q 2. 入札説明書によると、主任技術者又は監理技術者は、「競争参加希望者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること」とあるが、社員でなければならないということか。</p> <p>Q 3. 入札調書によると、調査基準価格を少し上回る入札額が集中しているが、調査基準価格は予想しやすいものなのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 7月の入札公告の時点で、開札までに鋼材等の価格が変動することも考慮し、WTO対象工事として発注した。</p> <p>A 2. そのとおりである。</p> <p>A 3. 単価や歩掛の公表、積算技術の向上等により、入札金額が調査基準価格に近いところにあるのはよくあることである。</p>
<p>2) 大橋川上迫子川排水機場機械設備新設工事</p> <p>Q 1. 競争参加資格に求める施工実績の同種工事は、「揚排水ポンプ設備の施工実績」で、「新設、追加、増設、更新、改造、修繕工事の別は問わない」とあるが、修繕工事の実績だけでも競争参加資格があるということか。</p> <p>Q 2. 「主ポンプの据付精度確保に対する施工計画」とは、具体的にどういうことを求めているのか。</p>	<p>A 1. 修繕工事が施工できるということは、構造を把握していると判断している。</p> <p>A 2. 水の中に歯車があり、それが回転することにより水を揚げていく。歯車をまわすモーターと羽根車の軸の据付の精度がポンプの効率に大きく</p>

<p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>影響するので、据付時の精度確認の仕方、施工管理のやり方を施工計画で求めている。</p>
<p>3) 総社一宮バイパス今岡第2高架橋床版工事</p> <p>Q 1. 競争参加資格確認申請者が1者となっている理由は。</p> <p>Q 2. 平成30年7月豪雨後の7月20日に公告したことも影響しているのか。</p> <p>Q 3. 本工事と同様の、既に施工している工事の入札も競争参加資格確認申請者は1者だったのか。</p> <p>Q 4. 「PCケーブルの横締め工に対する施工計画」とはどういうものか。</p> <p>Q 5. 総合評価の評価項目において、地域精通度・地域貢献度の地元一次下請企業の活用率の配点が1点となっており、ウェイトが小さいと思われる。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 入札説明書をダウンロードしたが競争参加確認申請をしなかった者にヒアリングをしたところ、配置できる技術者がいなかったとの回答があった。</p> <p>A 2. その影響もあるかもしれない。</p> <p>A 3. 当事務所において、同箇所今回と同様な工事の発注はしばらくなかったため、わからない。</p> <p>A 4. 床版コンクリート硬化後に横締めを行うが、横締めの時に行うコンクリートの強度確認や、緊張管理等についての施工計画を求めている。</p> <p>A 5. 最低限の評価をしている。</p>
<p>4) 水島港湾合同庁舎建築その他改修工事</p> <p>Q 1. 実績の少ない企業も受注できるようにチャレンジ型として発注しているにもかかわらず2者しか応札していない理由は。</p> <p>Q 2. 入札金額の高い者が落札した理由は。</p> <p>Q 3. 施工体制評価点が30点というのは、どういふ点が評価されたのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 一般的に建築工事は応札者が少ない上に、庁舎内を使用しながら改修するため、新築するより手間がかかるために応札者が少なかったと推察する。</p> <p>A 2. 入札金額が低かった者は低入札のため、施工体制確認のための資料を求めヒアリングを実施したところ、施工は可能であることは確認したが施工体制評価点を加点するほどではなかったため、施工体制評価点を0点とした。基礎点と加算点の合計から入札金額を除いて両者の評価値を求め、評価値が高い者を落札者とした。</p> <p>A 3. 入札金額が調査基準価格を上回る場合は施工体制評価点が30点付与される。</p>
<p>5) 平成30年7月豪雨備後地域災害復旧(その2)工事</p>	

<p>Q 1. こういう工事の予定価格はどのように積算するのか。</p> <p>Q 2. 平成30年7月7日に緊急出動の要請をし、受注者は直ちに作業に入り、契約は後日締結したという流れか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 出動要請時点から一定期間は工事数量が確認できないため、後日、確定後に受注者から数量の取りまとめや参考見積の提出を受けそれをチェックし、官積算部分と合わせて予定価格を積算している。</p> <p>A 2. そのとおりである。「福山河川国道事務所災害応急対策活動等に関する基本協定」第9条に、「出動を要請した場合は、速やかに契約を締結するものとする。」とある。受注者の作業状況が落ち着いた段階で契約を締結している。</p>
<p>6) 三次管内道路防災点検業務</p> <p>Q 1. 評価値の算出方法は。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 予定価格と応札者の入札額から価格評価点を算出し、技術評価点と価格評価点を合計し、評価値を算出している。</p>
<p>7) 土師ダム定期検査資料作成業務</p> <p>Q 1. 入札調書に「くじ実施」と記載があるが、なぜくじを実施したのか。</p> <p>Q 2. 6者が同じ入札価格で入札しているが、不正の可能性はないのか。</p> <p>Q 3. 履行期間が10月から2月となっており、山間部であれば積雪もあり、履行が困難になるのではないかと思われるが、なぜこの時期に実施するのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 最低価格で入札した者が6者いたため、くじ引きで落札者を決定した。</p> <p>A 2. 当該業務には標準的な歩掛がないため、指名業者に歩掛の見積依頼をし、提出された歩掛を基に当該業務の歩掛を決定し公表しているため、予定価格等を類推することは可能である。従って、不正はないと判断している。</p> <p>A 3. 1月に実施される定期検査の為に、本業務において、過去の調査データを基に検査用に取りまとめや整理を行うものである。簡単な現地調査はあるが、現地で時間をかけて調査を行うものではないため、冬場でも問題は無い。</p>
<p>8) 出力機器等最適配置調査及び出力サービス提供等業務</p> <p>Q 1. 消耗品は用紙を除くとあるが、トナーも契約に含まれているのか。</p> <p>Q 2. 辞退している業者がいるが、理由は。</p>	<p>A 1. トナーも含まれている。用紙を除く全ての消耗品や保守料が契約に含まれている。</p> <p>A 2. 当該業者にヒアリングしたところ、準備する台数が多く機器の確保が困難と判断したため辞退したとのことであった。</p>

Q 3. 過去2回の入札の契約相手はどこか。	A 3. 平成22年度はリコージャパン株式会社、平成26年度は富士ゼロックス株式会社だった。
Q 4. 入札するにあたって、出力実績等諸条件は開示しているのか。	A 4. 前年までの実績を開示している。
Q 5. 出力機器が元々841台あったが、MPS導入後に383台に減少したと言う説明があったが、詳細を教えて欲しい。	A 5. MPS導入前は各所属で、プリンタ、コピー機、FAXを保有しており、合計すると841台あったが、1台で複数の機能を持った複合機を適切に配置したことにより、平成22年度に出力機器の数量を大幅に削減をすることができた。
Q 6. 他省庁や他局も導入しているのか。	A 6. 他省庁については分からないが、国土交通省内では12部局でMPSを導入していると聞いている。
Q 7. これだけの規模となると、大きな会社に限られてくるのでは無いか。	A 7. そういうことになる。
Q 8. 応札者2者の金額に大きな差があるが、どういう理由が考えられるか。	A 8. 機器の価格の差ではないかと推察している。
Q 9. 費用対効果や経済性の面から見ると、本業務は非常に効率的であると思う。一方で、機器の入札、トナー等入札、適正配置を検討する業務の入札を1つにまとめていることになる。この契約方式についてはどのように考えているか。	A 9. 本契約は、フロアの状況に見合う機器の調達、消耗品の調達、保守、コスト削減の提案といったサービス全てを含めた一連の契約である。仮に、トナーを別に発注したとしても、機種を限定しているため、トナーもメーカーの物を購入することになる。トナーを含めた機器を契約するのであれば、本契約のような一連の契約が効率的である。
○本件入札・契約は適正であると判断する。	

(3) 再苦情処理の報告

該当事案なし

平成31年度 入札監視委員会

総会の開催予定

平成31年6月25日（火）14時00分～
中国地方整備局 建政部 3階会議室

第1回定例会議（第一部会）の開催予定

平成31年6月25日（火）14時30分～
中国地方整備局 建政部 3階会議室
抽出委員 村上委員